

# 治安・安全情報

## (リヨン及びローヌアルプ州)

平成25年(2013年)10月  
在リヨン出張駐在官事務所

### 目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
  - ① 窃盗犯罪事件
  - ② 粗暴犯罪事件
  - ③ 凶悪犯罪事件
  - ④ 知能犯罪事件
  - ⑤ その他の事件
  - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

### 1. 今月の安全・防犯のポイント

**留守中に自宅周辺をパトロールしてもらう Operation tranquillité Vacances が通年のサービスに**  
バカンス中には、あらかじめ警察当局に届出をしておけば留守中の自宅を定期的にパトロールしてもらえる無料の制度(Operation tranquillité Vacances)が浸透し、過去数年その効果を発揮しているが、この制度がバカンス期間以外にも通年で利用できるシステムに変更されるとのことなので、長期間自宅を留守にする場合などには今後いつでも利用できるようになる。

#### **夜中・早朝に街中で脅迫窃盗が増加**

今月のプログレ紙の記事では、夜中や早朝に、街中で脅迫されて携帯電話や貴重品を脅し取られるケースが数多く見られた。遅い時間には人通りの少ない場所への外出を避ける、出る場合にはなるべく1人にはならない、携帯電話などを使用しながら歩かないなど、注意をひかないようにする必要があるだろう。

#### **地域の産業リスクに対しての情報キャンペーン**

ローヌアルプ州には、以下のように90カ所の産業リスク対象施設があり、リヨン都市圏はそのリスク予防地帯に指定されている。

##### **【主な産業リスク対象施設】**

- ・ Feyzin 市にある石油精製工場・ガス工場、
- ・ Pierre-Bénite 市にあるガス化学工場、
- ・ リヨン市第7区のP4生物化学研究所や石油輸送備蓄所、
- ・ St-Fons 市にある塩化物工場、
- ・ St-Genis-Laval 市にあるガス工場、
- ・ アン県、ドローム県やアルデッシュ県にある原子力発電所

法律により5年に一度はその危険リスク（火災、爆破、ガス漏れ、放射能事故等）に関する情報キャンペーンを行い、地域住民に情報提供することが定められている。10月にローヌ県知事から各家庭にこの情報に関する冊子が配布された。

万一、事故が発生した場合には、サイレンで警報が流される（1分41秒のサイレンが3度、5秒間隔）ので、これを聞いた時には即座に次のように対処したい。

- ① 外部に残らずに屋内に入り、換気扇などは止めて密閉できる部屋があればそこで待機する。飼っているペットなども屋内に入れる。
- ② ラジオ(France Inter, France Bleu, France Info)やテレビ( France3)、インターネット(市役所や県庁)、などを利用して情報を収集する。
- ③ 学校などに預けている子供を迎えに行こうとしないこと。学校では教師など責任者が指示に従い安全地域に子供を避難させるので、むやみに迎えに行くと危険を犯し、避難の妨害とならないようにする。
- ④ なるべく電話を使わないようにする。緊急援助のために使用できるよう電話回線が飽和しないよう控え、短い会話で終わらせること。
- ⑤ それ以外には、喫煙しない、発火しやすいものを使用しない、子供達にはゲームなどをさせて落ち着かせる、呼吸が不快な場合は、湿った布を顔の前に置きそれを通して呼吸するようにするなど、大切な情報は普段から心得ておくことが大切だろう。

30秒のサイレンが1度鳴ると緊急事態警報の終了を知らせることになる。サイレン音の実例を聞きたい場合、対応情報を確認したい場合は、録音電話メッセージ N°Vert 0 800 507 305 から聞くことができる。

## 2. 邦人の被害事例

今月は特に無し。

## 3.地区別 治安情報集計結果

2013年10月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	Iser e県	Loir e県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦)			1			1		1		1		1					5
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合)	2	3	8	2	1	3	3	2	1	9		3	3		1	1	42
窃盗犯 (侵入盗、乗り物盗、 車上荒らし、ひったくり等)	3	6	5				2	1	6	8	1	1	1			2	36
知能犯 (詐欺、横領等)		3	2				1	1		2		1		1			11
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑 行為等軽犯罪)	1	3	3			2	3	1	4	6		2	1		1	1	28
<b>合計</b>	<b>6</b>	<b>15</b>	<b>19</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>9</b>	<b>6</b>	<b>11</b>	<b>26</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>122</b>

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数であり、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

#### 4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より）

##### ① 窃盗犯罪事件

10月1日正午、リヨン市第2区の St-Antoine 河岸通り在住の95歳と91歳の老夫婦宅に、水道局職員と名乗る2人組の男が訪れ、1人が老夫婦に話しかけているうちにもう1人がアパート内部に侵入して物色し、宝石貴金属などを奪って去って行った。被害額は多額だったとのこと。

10月1日、リヨン市第7区の Guillotière 地下鉄駅で、前日に同じ場所で21歳の若い女性から携帯電話をひったくったルーマニア国籍の男2人が逮捕された。地下鉄駅構内に設置されている監視カメラの映像から犯人が判明したため逮捕となった。

10月1日午後5時半頃、リヨン市第2区のベルクール広場で、市内中心部の商店からノートパソコンを盗んできた15歳の浮浪者2人組が逮捕された。

10月2日、リヨン市第3区の Part-Dieu 駅で、リール発マルセイユ行の TGV の中で、乗客のノートパソコンと財布を盗んだ21歳の若い男が逮捕された。この男は、他にももう一台パソコンをもっており、それは知らない人から購入したと自白しているとのこと。

10月6日夜9時半頃、Gleizé 市のたばこ店兼バーに、覆面をして銃を持った5人組のグループが侵入し、経営者、その義理の姉と客2人を脅迫し、結局2500€の現金を奪って逃亡した。被害者達に怪我はなかった。

10月6日、Meyzieu 市 des Hayes 通りのモジュール建築会社 Algeco 社の敷地内に、何者かが門をよじ登って侵入し、電気ケーブルの束140本を盗み出した。被害額は8000€相当になる。

10月6日午前3時頃、リヨン市第2区の Vaubecour 通りで、15歳から22歳の3人組の若い男が21歳の男性を刃物で脅して携帯電話を奪い、そのあと若い女性の携帯電話も盗もうとしたために逮捕された。

10月7日、リヨン市第1区 la fromagerie 通りで、8月末に Griffon 通りで盗まれた音響機器を隣人宅に運んでいた男が逮捕された。

10月7日夜中、6月から8月にかけて、リヨン市第3区内で、「気をつけろ、簡単に盗まれる」と言いながら、携帯電話と貴重品を多数の被害者から盗みとっていたリヨン市第6区在住の21歳の若者が逮捕された。

10月8日午前3時頃、Villeurbanne 市でパトロールしていた警察が、Descartes 通りの建物の壁をよじ登ってバルコニーに侵入していた男を見かけ逮捕して身柄拘束した。この男は、実は女性下

着を収集する趣味があり、数か月前から洗濯物の干してあるバルコニーによじ登って盗み集めていた数々の下着が自宅から押収された。

10月9日午後11時40分頃、Villeurbanne 市で若い女性が携帯電話を盗もうとした男から激しい暴行を受けた。この犯人の若者は、女性から携帯電話を奪い取ろうとしたところ抵抗されたため、怒って女性を地面に張り倒して手足で殴り、催涙ガスを振りまいて逃亡した。

10月10日午前4時頃、リヨン市第3区で30歳の男性が浮浪者から暴行を受け、金のネックレスを奪い取られた。この男性は浮浪者の後を追いかけて捕まえて通報し、警察が来るのを待っている間に、混乱の中で目撃者の1人に携帯電話を盗まてしまったとのこと。

10月9日、リヨン市第2区の Childebert 通りで、19歳の若い女性から携帯電話を奪い取った16歳の少年が現行犯で逮捕された。この少年は、数分前に la Barre 通りでもスリをしてきたところだったとのこと。

10月12日午後、リヨン市第2区の地下鉄 Bellecour 駅の中で、Rilleux-la-Pape 市在住の17歳の少女が、リヨンの市内で盗んできた値札のついたままの宝石や化粧品を所持していたために警察に逮捕された。盗んだ商品の総額は178€相当だった。

10月13日午前3時頃、リヨン市第7区でスクーターを盗み、パトロールしていた警察に出会った際にその証拠であるドライバーを隠す暇のなかった21歳の若い男が逮捕された。

10月16日午前2時頃、ロワール県の Bouthéon 市にある Crédit Agricole 銀行で、ATM 現金自動預け払い機が爆破された。ロワール県では今年の3月から数えて9件目の銀行 ATM 機の爆破事件で、9月には Sury-le-Comtal 市で、数週間前には Chambon-Feugerolles 市で同じように攻撃されている。結局今回は金庫が爆破のショックに耐えて、開けられなかったために犯人は何も取れずに逃亡した。

10月19日夜中、Satolas-et-Bonce 市にある倉庫街の LDLC 社で、何者かがグラインダーを使用して倉庫の鉄製ドアを開け、中に保管してあった iPhone や iPod、Wiko などの携帯電話を盗んでいった。被害額約15,000€相当とのこと。

10月21日午前1時頃、リヨン市第9区 Vaise 地区にある St Pierre 通りにあるサンドイッチ店 Subway に空き巣に入ったと疑いのかかっている17歳と20歳の若い2人の男たちが逮捕された。

10月21日、今年の7月からリヨン市第3区と第7区、Oullins 市で合計7件の空き巣を働いていたグルジア国籍の35歳の男が逮捕された。この男は、通常は郵便配達人が持つ建物共通の鍵を所持していた様子で、監視カメラの録画映像がその姿をとらえていたために逮捕となった。

10月22日午前1時頃、リヨン市第3区で18歳の若い女性が、第7区在住の18歳の男に襲撃されて携帯電話を奪いとられた。この容疑者はそのすぐ後に逮捕された。

10月22日午後5時頃、Roanne 市の SNCF 国鉄駅でオペレーションセンターとして使われている列車車両に13歳と14歳の3人の少年が侵入して、コンピューターを奪ったために逮捕された。取り調べ中には、このうちの1人が19日にも他の少年2人と一緒にクレジットカードを盗み出し、現金自動払い機で現金を引き出そうとしたことや、残りの2人も車両内にもどってテレビやゲーム機などを盗んでいたことが判明した。

10月23日、1年前からリヨン市第3区と第6区の建物の地下倉庫やパーキングに侵入し、自転車など売却できそうなものを盗み出し、第3区の Gabriel Péri 広場の闇市で売り捌いていた17歳と20歳の若者達が逮捕された。

10月27日午後7時半頃、Villeurbanne 市において無免許で車を運転していた男が、警察の交通検問に従わなかったために逮捕されたが、この44歳の男は、同乗の42歳の男と一緒に空き巣を働いてきた直後であり、さらに、服役していた刑務所から一時外出したあと戻らなかったために指名手配されていた男だったことが判明した。

10月28日午前2時頃、Villeurbanne 市 Emile-Zola 通りで車上荒らしをしていた14歳と17歳の少年2人が現行犯で逮捕された。この2人は今年の初めから Perrache 地区において、ルノー Twingo 車種のみを狙った車上荒らしを30件以上繰り返してきたことを自白した。

10月29日午前5時半頃、リヨン市第3区で似通った窃盗事件が2件あった。一件目は、29歳の女性が Gabriel Péri 広場のバス停にいたところ、何者かが刃物を喉元に押し付けて脅迫し、仲間の2人の男がカバンやノートパソコン、携帯電話を奪っていった。一時間後には、Guichard 広場で34歳の男性が何者かに殴り掛けられ、喉に刃物を押し付けられて脅迫された。犯人は、ポケット中にあるものすべてを取り上げ、共犯者が仕事上の書類などの入っていた荷物を奪って逃亡していった。

10月30日早朝、15歳と16歳の少年2人組が、食品店からアルコール飲料などを盗んで出てきたところを逮捕された。

10月30日、リヨン市第9区の Saint Cyr 通りでパトロール中の警察が、25歳の若い男が二つの大きな封筒を捨てようとしていたところを尋問した。この男は通常郵便局がもつ建物の共通鍵を所有しており、アパートなどの建物のなかに入り郵便箱のなかに入っている小包などの配達物を根こそぎ盗んでいた。

10月30日午前5時頃、リヨン市第2区の la Bourse 広場で、21歳の男性が4人組の男達から暴行を受け携帯電話と財布を奪い取られた。数十分後に奪い取った電話と財布を所持する容疑者達が Plâtre 通りで逮捕され、被害者男性も犯人だと識別した。

10月30日午後11時半頃、リヨン市第3区の Part-Dieu 駅で、20歳の若い女性が、近寄ってきた男にポケットの中に刃物を隠していると言いながら脅迫され、ATM 機で現金(530€)を引き出した上、カードと暗証番号と共に奪われる結果となった。

10月31日、前夜にオート・ソーヌ県の Port-sur-Saône 市で発生した ATM 機爆破攻撃事件の容疑者とみられる、リヨン市近郊 (Genay 市、Niévroz 市) 在住の3人の男が逮捕された。この3人はジプシー民族とのこと。

10月31日午前3時頃、リヨン市第3区の Paul Bert 通りと Maréchal de Saxe 大通りの交差点を歩いていた通行人に襲い掛かって、暴力的に携帯電話と現金を奪い取った18歳と31歳の3人組の浮浪者が逮捕されたが、このうちの1人は刃物で警察官を脅迫し、2人は滞在許可証をもっていなかった。

10月31日午後7時頃、リヨン市第5区で17歳の少年が逮捕された。この少年は、盗んだ車に放火した疑いがあり、少年が車を運転しているところを目撃した人の証言で逮捕となった。

## ② 粗暴犯罪事件

9月30日夜中、Villeurbanne 市にあるスーパーで、レジの係員と意見不一致で口論となり、持っていた銃を取り出して係員を脅迫した若い男が逮捕された。この男が所持していた銃は無力化処理されていたが、逮捕される際に男は反抗した。

10月1日夜、リヨン市第3区の Saxe 大通りで、35歳から50歳の3人のルーマニア人と、1人の若いロシア人男性が激しい口論ののち殴る蹴るの暴行喧嘩となり、ロシア人はカッターで皮膚を切られるなどした。

10月3日、リヨン市第7区のスタジアムでおこなわれたサッカー試合では、4人のダフ屋が警察に逮捕され、また、リヨンOLファングループが、相手チーム（ポルトガル）ファンが勝利の喜びを叫んでいたのを妬み、そのファンたちを侮辱し唾を吐きかけ、さらにベルトで殴りかかった。結局警察が介入して2つのグループを引き離れた。

10月4日午後11時頃、警察がリヨン市第4区のテロー広場で怪しい運転をしている車の運転手を尋問しようとしたところ、この酒に酔った無免許運転の運転手はそのまま逃走し、Claude Joseph Bonnet 通りで他の車に衝突、降りて歩いて逃げようとした。その後逮捕されたが、その際も反抗した。

10月7日、Vaulx-en-Velin 市で高級車を無免許で運転していた27歳の男が逮捕拘禁された。この男は以前にも麻薬品の密売で有罪判決を受けたことがあり、警察官を見たため逃走して他の車に激しく衝突し、警察官にも怪我を負わせた。

10月7日午後11時45分ごろ、リヨン市第6区の Vendôme 通りで、48歳の女性がATM機で現金を引き出していたところ、何者かが刃物で女性を脅迫し、クレジットカードを奪ってその暗証番号を聞き出し、そのまま逃走した。

10月7日午前9時頃、Villeurbanne 市 Frappaz 通りにあるたばこ店の経営者が道路を歩いていたところ、2人組の何者かが銃を持って襲い掛かり、持っていた現金入りのカバンを出すように脅した。この42歳の経営者が渡すのを拒絶したところ、催涙ガスをかけて車に乗って逃亡し、この車にはその後火をつけて逃げたとのこと。経営者は催涙ガスのため入院した。

10月7日、Vénissieux 市在住の21歳の若い男が、母親との口喧嘩をしている際に、母親に暴力をふるった罪で逮捕された。

10月8日、リヨン市第8区の Professeur Joseph-Nicolas 通りにある車修理工場で、スクーターの密売があるとの通告電話が警察に入った。現場に警察が駆けつけると、工場の中には、スクーターや自動車など、3台の盗難車があり、車の中からは、拳銃や弾薬が発見されたため、工場の経営者、前経営者など工場にいた6人が逮捕された。

10月9日、イゼール県 Vienne 市の32歳の警察官が暴力行為のために身柄拘束された。10月1日の夜、暴行と反逆のために逮捕され Vienne 市の警察で取り調べをうけていた16歳の未成年の少年が、この警察官から顔面を何度も殴られたためであり、警察の上部ではこの警察官を直ちに停職処分としたが、この警察官は少年から脅迫されたため、自己防衛で対応したと供述している。

10月10日午後7時頃、Villeurbanne 市の地下鉄 Laurent Bonnevey 駅で、17歳から19歳の若い女性7人組グループが、St Priest 出身の19歳の若い知り合いの女性が駅にやってきた際に口

喧嘩となり、この女性の顔などを激しくなぐり、彼女の現金や iPodなどを奪い取った。目撃者の通報により警察がすぐに現場にかけつけ、7人のグループとその友人の少年2人が逮捕された。

10月11日、午後3時半頃、Vénissieux市在住の Paul Bert 通りにあるバーの近くで喧嘩がはじまり、グループが激しく叫んだり暴行したりしているために心配した住民が警察に通報した。警察が駆けつけた時には、すでにこのグループは消え去っていたが、胸部を負傷した被害者が病院に行って手当を受けているのをみつけ、事情聴取をしたが、現在のところ詳細はわかっていないらしい。

10月12日午後9時頃、Villeurbanne市バスの Laurent Bonnevey 駅で TCL リヨン市都市交通の職員に暴行を働いた26歳の男が逮捕され、警察に移送されたが、その際にも警察官に対して侮辱したり殴りかかったりと反抗した。

10月20日早朝、Villeurbanne市で新聞雑誌を配達していた輸送業者が、Jean Voillot 通りで数人の男たちに襲われ、激しく殴られて乗っていた配達のためのワゴン車を盗まれた。

10月21日、Vaulx-en-Velin市の Orcha ロータリー付近で、25歳の Villeurbanne 市在住の男が、車の後部席にB級のオートマチック銃を置いていたために逮捕された。

10月21日夜中、Villeurbanne市 Dedieu 通りの建物入り口で、22歳の若い女性が銃を持った男に脅され、携帯電話と財布を奪い取られた。この男はその後逮捕され、銃が偽物だったことが判明した。

10月24日午前4時頃、リヨン市第5区の Estrées 公園で18歳と20歳の若い女性2人が、5人組の男達から襲われて殴られ催涙ガスなどをかけられた末、犯人達は逃亡し、その容疑者の1人の19歳の少年が逮捕されたが、犯行動機などは明確ではなく、人種差別発言があったこと以外ははっきりわかっていない。

10月25日早朝、Chassieu市の Louis Pergaud 通りにある郵便局の ATM 機が爆破され、警察が駆けつける前に、犯人達は ATM 機内の現金を奪って逃亡した。

10月26日午後10時半頃、リヨン市第2区のベルクール広場で酒に酔った未成年を含む若者たちがウォッカの瓶を振り回していたところに、通報をうけた警察が到着したところ、若者たちは侮辱の言動を警察に対して叫び、激しく抵抗した。この第7区出身の若者達は身柄拘置となった。

10月27日午前3時半頃、17-18歳の少女3人がリヨン市第1区の la Croix Rousse の坂を帰宅するために登っていたところ、突然あらわれた男性に脅されカバンなどを盗まれそうになった。少女たちは抵抗したために、殴られたり、1人は腹部表面部をナイフで切られたりしたが軽傷ですんだ。犯人はその後すぐに逮捕されたが、この男はチュニジア国籍の23歳の浮浪者だった。

10月27日午前2時頃、リヨン市第9区にある Jean Perrin 高校の壁に落書きをし、いくつかの窓や監視カメラにペンキを塗り、さらに斧を持って内部に侵入しようとしていた3人の17歳-18歳の少年が逮捕された。うち2人はこの高校の元生徒で、特に目的があったわけではなくいたずらに挑戦してみただけとの事だが、落書きの内容は過激な内容だったとのこと。

10月27日午後、リヨン市第3区に在住の35歳の男が酒に酔って帰宅し、自宅内で妻と喧嘩になった際に、妻に暴力をふるって殺すと脅して暴れ、家具などを壊した時に横にいた3歳の娘に怪我を負わせた。

10月27日午後10時頃、Villeurbanne市 Jean Jaurès 通りで交通検問の際にアルコールテストを受けることを拒絶した52歳の男が、警察に反抗して激しく殴りかかり、警察官に全治10日の怪我を負わせた。

10月28日、リヨン市第1区の Burdeau 通りにあるバーから追い出された33歳のチュニジア人が、恨みに思い返しをするために午前4時頃そのバーに舞い戻り、入り口扉を破壊して侵入したのち、店内を荒らしてバーに放火しようとした。また、その後店の裏にあったバーの主人のオートバイにも火をつけて店から出てきたところを、通報をうけて駆けつけた警察に逮捕された。

10月30日午後、Villeurbanne 市内にあるルノー車の販売店に入った男性が、酒気を帯びているためか意味不明な発言や行動をしたために、販売店の責任者が追い払おうとしたところ、男は暴れ出して展示してある車を破損した。その後この男は店を出て隣の民家に忍び込み、住人の63歳の男性を殴って男性の車を盗もうとした。その後 Louis Ducroize 通りでこの男は逮捕された。

10月31日夜、リヨン市第2区のベルクール広場のバス停で、施設から抜け出していた14歳の少年が TCL 市バスの運転手を侮辱し、その後発車しようとした際にバスのハンドルを横から握って車道から外させようと業務妨害行為を行った。夜中0時15分ごろに Charité 広場で警察がこの少年を捕まえ身柄拘束した。

### ③ 凶悪犯罪事件

10月7日午前11時頃、16歳と17歳の2人組の少年が、殺人未遂・暴力・窃盗・無免許運転の罪で逮捕された。この2人は、リヨン市第9区の Rambaud 財団の駐車場に、空き巣に入って盗み出した器材を車に積み込んでいたところ、近所から疑わしいと通報があったため警察が駆けつけて止まるように指示した。2人の乗った車は警察の車に突っ込んできたため、警察は防御のため5発発砲した。犯人達の車はそのまま、少し離れた場所に停車していた車に衝突し、警察官1人が負傷した。犯人の車の中からは、スイスのベルン市内のホテルからその前日夜中に盗まれた金庫がみつかった。車を運転していた少年は、3月にはオート・アルプス地域のホテル4軒に一晩で空き巣に入るなど多くの前科を持つ少年である。

10月16日午前0時半頃、リヨン市第8区 Francis Pressensé 大通りにある PMU バー« le Bon Coin »に覆面をして銃をもった強盗が押し入り、銃で脅迫してその日の売上金の入った袋を奪い取って逃走した。この店に強盗が入ったのは今年2回目とのことで、被害額はまだ明らかにされていない。

10月20日午前4時前、21歳の若い女性が、リヨン市第3区の la Liberté 通りで25歳の浮浪者で不法滞在の男から性的暴行を受けた。

10月27日午前5時ごろ、夜中に出かけた後、リヨン市第6区から Villeurbanne 市の自宅に向かって歩いていた27歳の女性が、Vitton 通りと Jules Vallès 通りで2度にわたって同じ男から性的暴行にあった。その男はその後逃走した。

10月28日午後7時ごろ、Vénissieux 市の Jean-Cagne 大通りにあるスーパーDIA 店に2人組の覆面をして銃を持った強盗が押し入り、経営者と従業員を脅迫してレジの中の現金数百ユーロを奪い取り、そのまま逃走した。



#### ④ 知能犯罪事件

10月3日、Saint Priest 市にある Renault Trucks 社で、1人の契約職員を含む4人の社員がトラックのエンジンの部品を盗み出して、仲介人を通してアルジェリアに売りさばき、その報酬金を受け取っていたために逮捕された。盗んだ社員は、土曜日や平日の早い時間などに工場内でこっそり盗んでいたもので、この部品はエンジンに燃料を噴射するインジェクターで、小さい部品だが高価（1000 €/個）で、今回の逮捕により最低800点の部品が盗まれていることが5月ごろに発覚し、内部捜査が行われていた。

10月10日、過去3年間にわたって、偽造の請求書などを作成して社会保障局へ請求し258380€に上る支払いを受けていた、Givors 市にある救急車搬送サービス会社経営者が逮捕された。社会保障局内部で、この会社の支払請求書類に不備がみつき、警察金融セキュリティー班が調査を進めたために明らかになった。

10月11日、リヨン市第7区 Gambetta 通りにある携帯電話ショップの経営者である27歳の男が逮捕された。この男は、警察への登録がされていない二人の従業員を雇っており、また、店内には盗難電話を再使用できるようにロック解除できるシステムを所有していたため、その疑わしい経営を取り調べられることとなった。

#### ⑤ その他

10月初めに、リヨン市第9区の安全監視優先地域に指定されている la Duchère 地区で、警察が一斉取調作戦を行ったところ、盗難オートバイ、偽造ナンバープレートを付けたスクーター、いくつもの大麻樹脂、そして6.35口径の銃弾10箱が差し押えられた。10月9日には、同じ地区で警察官19人、税関吏2人が麻薬犬をつれて、覚せい剤の一斉取り調べがおこなわれ、車57台、73人が取り調べを受けた。

10月2日、リヨン市第3区の Cours Lafayette 通りにある郵便局に、人から借りた名前で口座を新しく開き、小切手帳やクレジットカードを作ろうとしていた21歳と25歳の若い女2人が逮捕された。

10月7日早朝、ローヌ県、イゼール県、ドローム県で、350人の警察官が一斉に動員されて、大麻密売に関する容疑者43人が逮捕された。容疑者達の家宅調査などで数キロの大麻と数千ユーロの現金などが押収された。

10月7日、リヨン市第2区に在住の27歳の男が逮捕された。この男はネット上に子供達の488枚の写真と21のポルノビデオ動画を投稿していた。パリ近郊警察の、通信サイバー犯罪専門技術調査班が、IPアドレスからこの男の身元を見つけ出した。

10月8日、リヨン市第8区の Jean Mermoz 大通りで、同じ地区に在住の17歳の少年が大麻の密売をしているところを現行犯で逮捕した。この少年は、大麻樹脂を127g、大麻を16g所持していた。

10月9日、リヨン市第2区のペラッシュ駅で客待ちをしているタクシーの運転手が逮捕された。この34歳の男は、タクシー駐車許可を持っておらず、商業登録もしていない偽運転手だった。

10月11日、昨年以來数カ月間続いている、アパートの地下室で発生した8件を含む約15件の不審火災事件の犯人と思われる、47歳の精神的に不安定な男性が取り調べの末逮捕された。本人は4件については放火したことを認めているが、それ以外については覚えていないと供述している。

10月23日、Vénissieux市のJean Cagne通りで、リヨン市第7区在住の18歳と24歳の若者が車の中で大麻樹脂を所持しているところを警察に逮捕された。18歳の若者は、合計190gの大麻樹脂を所持していた。

10月25日に、Vénissieux市で自動車（60歳の酒気帯び運転）とオートバイ（31歳無免許）の交通事故があったが、それをきっかけに投石暴動騒ぎが起きて、15台の自動車が燃やされた。

10月27日午前3時頃、リヨン市第6区のJules Ferry広場で、若い女性たちの前で自慰行為をしていた28歳の男が、近辺のパトロールをしていた警察に逮捕された。

10月30日午後8時半頃、リヨン市第9区で民家の壁を登って侵入しようとしていた4人組の男達が逮捕された。この4人は18歳-25歳のアルバニア国籍の浮浪者だったが、侵入しようとしていた家は空き家で、4人はただ単にその夜寝る場所を探していただけのようだった。

#### ⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

## 5. 今月の出来事

### 新種の覚せい剤

アフリカ大陸から、新種の覚せい剤がRhône-Alpes地方にも入ってきている。この覚醒物は「khat」と呼ばれる植物で、口の中で長時間噛むものであり、アフリカのソマリア、エチオピア、イエメン、ケニアやジブチなどでは伝統的な嗜好品だが、フランス国内では覚せい剤とみなされている。イギリスなどからも入ってきているようで、現在のところ税関などに没収されている量は少ないが、確実に流通量が増加している。この覚せい剤は口の中で長時間噛むものであり、伝統的に消費しているアフリカ大陸からの移民が主に使用しているとみられている。

### 遊園地 WALIBI でジェットコースターが止まり、乗客が退避

イゼール県北部のAvenière市にある遊園地区WALIBIの目玉ジェットコースター、ルーピングのある《ブーメラン》が、10月6日の午後、28名の乗客を乗せて出発したものの、途中で突然止まってしまった。止まったのは、地上20メートルの比較的的水平部分だったため、乗客のうち16人は救助隊の来る前に近くに設置されていたはしごなどを使って避難したが、列車の前と後ろに乗っていた乗客12名はそのまま救助隊を待った。約50分後に危険地域専門救助隊がヘリコプターで駆けつけて残りの乗客を避難させたため、怪我人など負傷者はなかった。この遊園地では施設の定期検査を行い毎朝の点検もしていたとのことだったが、結局、後日の調査でブレーキ装置の部品に障害があったための事故だったことが発覚し、早速修理・復旧作業がおこなわれ、10月12日からサービス再開となった。

### Part-Dieu 地区で工事中にガス事故

10月14日、リヨン市第3区のPart-Dieu地区 Vivier Merle 大通りと Félix Faure 大通りの交差点工事現場で、工事中にシャベルカーが間違っでガス管に穴を開けてしまった。直後に安全地帯が敷かれ、周辺オフィス街の約900人が修理する間、約一時間避難することとなった。

### **新しい街の電気レンタカーサービス導入**

リヨン市では2005年5月から、フランス国内でも先駆けて市のレンタル自転車 Vélo'v のサービスを開始し、2008年からは Autolib' というレンタカーシステムを導入して、エコロジーでエコノミーな街中での交通手段へと新しい動きがでていますが、今月から新しく電気自動車のレンタルシステムが仲間入りした。La Bluely というこのシステムは、使用方法は Autolib' とほぼ同様だが、電気自動車なので使用後にガソリンを入れる必要がない（自立走行距離は約250km）。今月から51カ所のステーションで約130台の車が使用でき、来年には100カ所のステーションで250台に増台される予定。[www.bluely.eu](http://www.bluely.eu)

また、日本の NEDO (新エネルギー・産業技術総合開発機構) が支援を行っている、リヨンスマートコミュニティ (Confluence 地区) でも、この地域に限られた、太陽光発電システムを主要なエネルギー源とするカーシェアリングサービス Sunmoov' を今月開始し、地域の住民や企業が所有する車を減らすことのできるエコロジーな提案をしている。[www.sunmoov.fr](http://www.sunmoov.fr)